

調査結果の概要

■ 今年度の調査を通じて明らかとなった知見等

【情報の収集・整理】

- 各地域事業の気候変動による影響調査を実施するに際して必要となる気候指標を収集・整理
- 国内のプロジェクト等において開発された(開発予定)の気候シナリオに関する情報を収集・整理し、本事業で活用可能な気候シナリオを選定

【気候シナリオの入手・配布・操作】

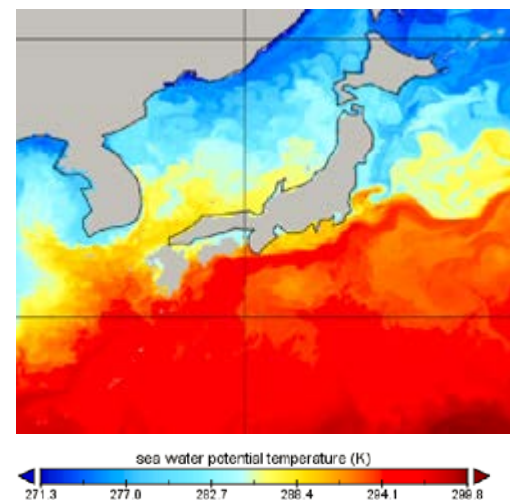
- 入手可能な気候シナリオを整理し、気候シナリオ利用に関する留意事項等を提供元と調整を実施
- 提供元等との調整により気候シナリオ(サンプルデータも含む)を入手し、各地域事業に配布(下表参照)
- 入手した実験セット毎に入力プログラムを作成

表 収集した気候シナリオ

時期	気候シナリオ	種別
2017/11	海洋近未来予測力学的ダウンスケーリングデータ	サンプルデータ
2017/12	統計的ダウンスケーリングデータ: ・農環研データセット ・日本全国1kmメッシュデータ統計的DS	本番用データ
2017/12	力学的ダウンスケーリングデータ: ・温暖化予測情報第9巻 ・気象研究所2km力学的DSデータ	サンプルデータ
2018/1	力学的ダウンスケーリングデータ: ・温暖化予測情報第9巻(降水, 気温) ・気象研究所2km力学的DSデータ	本番用データ

出典:みずほ情報総研作成

図 海洋シナリオ(海水温)の予測例



出典: JAMSTECから提供された海洋シナリオデータをもとにみずほ情報総研作成